



市議会だより

6月
定例会

第77号

令和8年8月1日

編集・発行
市議会だより編集委員会
電話 (0956) 72-1111

令和8年度一般会計補正予算**3億216万4千円**を賛成多数で可決

「庁舎整備事業（デジタルサイネージ設置）」、「道の駅鷹ら島 施設用備品購入費」は、
附帯決議をして各委員会で可決されました。 ※附帯決議については、8、9ページをご覧ください。



福島地域まちづくり運営協議会（子ども部会）主催
福島町初崎海水浴場美化活動（クリーンフェスタ）

（6月14日）



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和8年 6月定例会

令和8年6月定例会を、6月12日（金）から6月25日（木）までの14日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市税条例の一部改正、令和8年度各会計補正予算10件、その他の議案9件、請願1件の計21件が上程され、いずれも原案のとおり可決、承認、採択されました。

最終日には、市長提出案件1件、議員提出案件1件が追加上程され可決されました。

（※議案等の審議結果については、11ページに掲載）



会期日程

6月
12日（金）

本会議

▽会期の決定

▽会議録署名議員の指名

▽議長報告

▽特別委員会の中間報告

▽選挙管理委員会委員および補充員の選挙

▽市長の市政概況報告

▽市長提出案件の上程・説明・審議・主管委員会付託

▽市長提出の諸事項報告

▽請願の受理報告・主管委員会付託

▽陳情の受理報告

13日（土）・14日（日）
15日（月）～17日（水）

▽一般質問

18日（木）・19日（金）

20日（土）・21日（日）

22日（月）

23日（火）・24日（水）

25日（木）

▽主管委員会付託案件の審査報告・採決

▽市長提出案件の追加上程・説明・審議

▽議員提出案件の上程・説明・審議

本会議

委員会

委員会

委員会

委員会

委員会

委員会

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内（答弁と関連質問を含む）としています。

今定例会では、6月15～17日の3日間で10人が質問を行います。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。（登壇順）

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館



会議録はこちらからもご覧になれます。（6月定例会の会議録は9月定例会前に公開予定）

議会は

インターネット中継でも
ご覧いただけます。

次の定例市議会は

9月です。

松浦市公式ホームページで生放送します。パソコン、スマートフォンなどで視聴が可能です。また、ホームページでは録画映像の視聴もできます。

松浦市公式ホームページアドレス
<https://www.city-matsura.jp/>



録画映像はこちらからも
ご覧いただけます。

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

Tel (0956) 72-1111

一般質問

水 志
議員

○福島学校給食共同調理場の現状の課題と基本方針について

質 保健所の指摘が毎年続いている状況で、努力義務だから問題ないという認識なのか。改善が必要な状態という認識はあるか伺います。

教育長 長崎県の衛生監視においては、市内3カ所の共同調理場について、それぞれ施設・設備関係の指摘を受けていることから、それらの指摘事項について改善に努めなければならぬと考えています。

質 高温環境下で調理が行われている実態を把握している中で、万が一、学校給食において食中毒事故が発生した場合、本市として管理責任をどう認識しているか伺います。

市長 食中毒事故を発生させないために、本市として、また、教育委員会としても適切に管理を行い、現場の皆さんもそのために努力をしている、そういう状況下で、万一、食中毒等が発生したということであれば、それは当然、本市に責任はあると考えています。

質 平成30年9月に策定された松浦市立学校給食共同調理場施設統合基

本方針と、この基本方針策定に係る議事録の公文書開示請求を行いました。が、議事録は作成されていませんでした。なぜ議事録は作成されていないか伺います。

教育総務課長 統合基本方針を策定するに当たっては、実務的な協議や意見交換など、方針をまとめるための検討、調整の場であったため、その過程における詳細な発言を記録した公式な議事録の作成は行いませんでした。

質 給食の配送時間が長くなることで給食に及ぼす影響について伺います。

教育総務課長 配送時間が長くなると、衛生面のリスクが増えるため、食味や品質の低下が起ります。また、喫食時間の圧迫や温度管理の課題、食缶の劣化などもあると認識しています。

質 将来を見据え、統合することが本場に福島地域、未来の福島地域の子どもたちにとって、重要な策であるのか、再検討する考えがないか伺います。

市長 統合基本方針で令和12年度までに廃止を示していますので、その間にしっかりと地域の皆さま方に説明をし、現状について御理解いただく努力を行った上で、この方針に基づいて進めていかなければならないと考えています。

一般質問

福 本
議員

○農地維持の現状と課題について

質 本市における農地の維持管理の現状と課題をどのように認識されているかお尋ねします。

農林課長 本市では、土地改良区によって優良な農地が整備されてきましたが、整備後、数十年が経過したものが大半を占め、農業用施設の老朽化による機能低下が著しい状態で、施設の補修等に係る費用や維持管理など、農業者の負担等が年々大きくなっていると聞いています。

質 耕作できない土地に対する本市の支援についてお尋ねします。

農林課長 耕作できない土地への支援は、市単独事業では、農地有効利用支援整備事業および農業用施設に特定した市民協働まちづくり事業の2事業があります。

質 支援を受けても実際作業できない状況があると聞くが、そういうケースに市はどう対応するかお尋ねします。

農林課長 地域内だけの作業では賄いきれない部分も多々出てきていると思います。農林水産省の交付金には高齢化や人口減少などで地域の中だけで維持管理が難しくなった部分についても交付金が活用できる方向

に進んでいるため、相談を受けた際にはこのような事業の活用について、丁寧に対応していきます。

○西九州自動車道平戸IC開通後の交流人口拡大に向けた取り組みについて

質 平戸ICを降りてからの人の流れについて本市としてはどのようなイメージをお持ちかお尋ねします。

文化観光課長 令和7年度から、平戸市と連携して、それぞれの地域の強みを生かし、互いが目的地となるような相乗効果を生み出すため、互いの魅力を生かした4つのドライブモデルコースの造成を行い、本年度はそのコースを活用したデジタルスタンプラリーを計画しています。また、御厨港からフェリーで鷹島に渡り、埋蔵文化財センターを含む元寇ゆかりのスポットを巡るサイクリングコースを造成し、本年度はコースマップを作成し、広く周知したいと考えています。

質 地域振興や交流人口拡大を進めるため、うみのかげ公園に物産館整備の考えはないかお尋ねします。

市長 物産販売という考え方も含め、地域資源の発信、交流の創出、公園利用者の利便性向上につながる民間活用の在り方について、採算性や事業継続性、民間事業者の参入可能性なども踏まえながら検討したいと考えています。

一般質問

村尾
議員

○自治会の持続可能な運営と地域コミュニティの維持について

質 本市は自治会の加入率を上げるために何らかの対策を取っているかお尋ねします。

総務課長 自治会はその地区の住民の意思によって組織されるものであり、自治会加入の促進については各地区で自主的に取り組まれているので、行政が直接的に加入に向けての働き掛けはこれまで行っていませんが、区長のほとんどが松浦市地域自治会連合会の会員であり、その事務局を総務課が担当していることから、これまでも同連合会における自治会での課題をテーマにしたグループディスカッションの開催などに対する支援を行っています。このため、本市としては、連合会などを通じて各地区からの要望に、可能な範囲で支援を行いたいと考えています。

質 防犯灯の維持管理について先進自治体の状況を参考にした制度改革の考えがあるかお尋ねします。

防災課長 防犯灯設置の目的と受益者負担の原則から現行制度として

していきたいと考えています。

質 防犯灯の電気代負担が自治会の課題となっているため、太陽光発電システムの防犯灯を導入する予定はないかお尋ねします。

防災課長 太陽光発電システムの防犯灯の設置については、これまで導入の検討は行っていませんが、場所によっては太陽光発電システムの防犯灯の設置が適する場合も考えられるため、整備費用、維持管理に係る費用など、通常のLED灯と比較しながら、導入について今後研究していきます。

質 地域コミュニティを維持するため、自治会の負担を軽くし、本市が管理できる体制づくりが必要と考えますが見解をお尋ねします。

市長 小学校区単位での協働によるまちづくり運営協議会の設立を推進して、自治会が中核となり、組織や団体間の相互補完関係を構築することで、改めて自治会活動に対する住民の理解が深まり、加入促進を図ることができ、活動の中で、今後の自治会活動を担う次世代のリーダーや新たな担い手の発掘も期待しています。また、行政が自治会にお願いをしている中で、見直すべきところは見直す必要があると思っています。ですので、市報の電子化、業者によるポスティングなどを具体化しながら、負担軽減に努めていきます。

一般質問

本
岩
議員

○災害時の避難所になる小・中学校の体育館へのエアコン設置について

質 異常気象により近年の日本では7月から9月が豪雨災害が最も多く発生する時期であり、本年5月から防災気象情報の発表基準等が大きく変わったことで、「指定緊急避難場所」・「指定避難所」を兼ねている小中学校の校舎や体育館へ、災害発生時には多くの方々が避難されると思われると思います。その体育館にエアコンが設置されていないことで、熱中症などの二次被害や命を落とす危険性が高くなると考えられます。災害は本当に待ったなしに起こります。小中学校の体育館へのエアコン設置の考えを伺います。

市長 体育館へのエアコン設置については、さまざまな課題があるため、今後の大規模改修に合わせ適切に考えていかなければならないと思っています。大量の電気をこれまで以上に使うことで、キュービクル（高圧受電設備）の増設だけではなく、電気の基本料金の上昇も想定されることから、今後の状況を見ながら、適切に対応していきたいと考えています。

○乗り合いバスの停留所以外での乗降について

質 「乗り合いバスを利用したいが、自宅がバスの停留所と停留所の中間で、徒歩では停留所まで距離があり利用できない」、「どのルートでも停留所以外で乗降できたら利用がしやすくなる」、「乗り合いバスを利用したいが、沿線からかなり離れていて、バス停までの距離があり困っている」、「車の運転が不安で運転免許証の自主返納を考えているが、バス停留所が遠く、足腰が悪くて利用できない」などのさまざまな切実な市民の声を聞いています。この声に対して、本市としての対策と今後の展開を伺います。

市長 「乗り合いバスの停留所が自宅から離れていてバスを利用したくても利用できずに不便で困っている」という市民の声があることは承知をしています。松浦地域における陸路交通の再編は喫緊の課題であることから、現在改定作業を進めている松浦地域公共交通計画において各地域の特性を踏まえ、特に松浦地域においては、この計画に基づき、地域の基幹交通であり、骨格をなす松浦鉄道を軸に、各地区の実情に応じたコミュニティバスの再編や効率化を図り、持続可能で交通弱者に配慮した公共交通ネットワークの再構築に努めていきます。

一般質問

川下
議員

○オンライン診療の早期実現と通院困難者を支えるモバイル診療の調査研究について

質 本市が想定するオンライン診療の仕組みにおいて、タブレット操作に不安を持つ患者へのサポート対策について伺います。

健康ほけん課長 公民館などを仮設の診察室にして患者に来ていただき、看護師が患者に寄り添い機器の操作を全面的に補助するという方法であれば、患者に不安なくオンライン診療を受診していただくことが可能と考えています。

質 今回実施を検討されているオンライン診療は離島限定か、それとも将来的に本土側の通院困難者にも対象を広げるための「先行モデル」という位置付けか伺います。

健康ほけん課長 対象地域は、青島、黒島、飛島の3つの離島を視野に入れて検討を進めており、離島以外の地域を対象とすることは現時点では考えていません。

質 高速通信網が未整備の黒島、飛島ではどのようにオンライン診療を可能にする考えか伺います。

健康ほけん課長 公民館などを活用

する形態を取る場合は、そこに専用回線の設置をするだけで済み、次世代高速衛星通信を利用することで、高速通信網が未整備の離島でもオンライン診療の実施が可能になると考えています。

○黒島・飛島における高速通信網の整備と未来への投資について

質 同じ離島の青島で先行して高速通信網が整備された背景を伺います。

総務課長 平成27年度の離島丸ごとひとつくり事業を通じた島民自らによる水産業の6次産業化と地域商社化に向けた動きがあり、この持続可能な地域活性化の動きを加速させ、実践的な販路開拓をICTで支えるため、平成28年度に先行して高速通信網の整備を実施しました。

質 黒島、飛島の住民を対象に終了した初期費用補助事業を復活させ、対象を「低軌道衛星サービスの導入費用」へ拡充できないか伺います。

市長 黒島および飛島地区での情報通信環境の向上を図るための支援は一定実施できたと考えますが、新しい高速通信技術の開発などにより通信サービス利用者の選択肢は増えています。この環境の変化を受け、当該地域で新たな通信サービスの環境整備を希望される方など、新たなニーズが出てきた場合は、何らかの支援を検討したいと思っています。

一般質問

宮田
議員

○松浦火力発電所と本市の将来像について

質 火力発電所は、電力事業の安定性の要となる「調整電源」であることや、将来的にはCCS(二酸化炭素回収・貯留技術)の技術で二酸化炭素排出量の削減が見込みであり、また、大都市圏の脱炭素を実現するためには、本市のように電源がある自治体の役割は極めて大きなものとなります。松浦火力発電所に関するの考えをお尋ねします。

市長 松浦火力発電所は、本市にとって、地元関連企業や商店等への消費効果など地域経済を支える重要な産業として、今日まで地域との共存共栄によりエネルギー政策に貢献しています。総出力370万キロワットの大容量火力発電基地である松浦火力発電所は本市の重要な産業の柱であるとともに、近年の社会情勢を踏まえると、広域的にも必要な電源として将来にわたり重要な役割を担っていくものと考えています。

質 これから研究開発が進む脱炭素技術に関して、本市の考えをお尋ねします。

市長 九州電力(株)・電源開発(株)の両

電力が検討している、アンモニア混焼の実証事業やCCS導入に向けた取り組みを支援するため、国の動きを注視しながら、両電力と情報を共有し、長崎県と共に国に対し積極的に要望を続ける必要がありますし、既に長崎県、国に対して要望を行っています。

○気候変動と農業振興について

質 気候変動が原因で、市内や長崎県内の農業に影響が出ていますか。また、補償が必要なレベルの被害があれば、時期や内容などをお尋ねします。合わせて、品質劣化などがあればお尋ねします。

農林課長 長崎県内では令和5年1月の寒波により、特に、長崎市内の露地ビワの幼果が約76%凍死するという甚大な被害が起きました。本市でのビワ生産はハウス栽培が中心で、この時は大きな被害は報告されていません。また、近年、高温による障害が市内でも散見されており、令和6年10月に松浦地区メロン部会から、秋冬作のアールスメロンの高温障害による品質低下や奇形などの報告を受けています。水稲においては、生産者が高温耐性品種への切替えに取り組まれています。それ以外の品種では、米が実る時期の高温が原因で米粒が白く濁る「白未熟粒」が多く発生し、品質低下や減収になったと聞いています。

一般質問

鈴木 立
議員○第2次松浦市小・中学校適正配置
基本計画策定の基本方針について

質 議会全員協議会で、今後の生徒数の減少などを考慮し、御厨・志佐・調川・今福の4中学校を統廃合し1校に集約すると説明を受けたが、統廃合ありきではなく、小中一貫校として存続し、生徒数増を目指し努力してもなお減少したときに、統廃合の説明をすべきと思うが考えを伺います。

教育長 小・中学校適正配置基本計画の策定は、国や長崎県の方針を踏まえ行っています。適正配置基本計画の策定に係るこれまでの経緯は、令和3年度に保護者や市民を対象に、少子化に対応した活力ある学校づくりに向けたアンケートを実施し、その結果、小中学校の将来像については、「統合せず現行維持」よりも「統合の検討もやむを得ない」が上回りました。令和4年1月に松浦市立小・中学校の規模および配置の適正化の検討審議について、松浦市学校適正配置検討委員会へ諮問を行い、令和5年2月に答申を受け、それを基に、基本計画案の作成に入りました。今後、保護者や地域住民に対して、各

地区を回り、丁寧な説明と傾聴により、できる限り不安の解消に努めたいと考えています。

○農水産商工業に与える石油、ナフ
サ不足の影響への対策について

質 中東情勢の悪化により、石油、ナフサ不足が、農水産業、商工業など多方面にわたって多大な影響が生じているが、現状を伺います。

農林課長 ながさき西海農協に確認したところ、現在、野菜、果物等の包装用資材や農業用ビニール、マルチシートなどが出荷調整等で入荷が一部遅滞しているとのことでした。

水産課長 新松浦漁協に確認したところ、漁船エンジン用オイルの在庫の減少、漁協支所の一部での給油の制限、船底塗料やその他資材の入荷の滞りといった影響があつています。また、燃油や氷、出荷用の箱などの値上げが行われています。

産業振興課長 松浦商工会議所が実施した会員向けアンケート結果では、8割強の事業者が石油由来製品の価格や確保に影響が出ているとの回答で、コスト上昇分を全く価格転嫁できていないと回答した事業者も4割弱存在していました。

市長 市民からの情報を国の関係機関に提供し、供給の目詰まりがなくなるようしっかりと取り組みを進め、国や長崎県の対策を注視したいと考えています。

一般質問

小川
議員○人口減少時代における協働のまち
づくりと地域防災体制の再構築に
ついて

質 人口減少時代の中で各地域を支えていくために、私は昔の「結（ゆい）」の考え方のように互いに支え合う仕組みが必要になると考えています。「結」とは、昔の農漁村において、田植えや稲刈り、家屋の建築、祭りの準備など、一人や一つの集落だけでは難しい作業を地域全体で助け合いながら行っていた相互扶助の仕組みのことです。人が減る中でも地域を超えた助け合いが可能となるような、まちづくり運営協議会同士が相互扶助の精神で応援しあえる上部組織のような仕組みが構築できれば、一人一人の負担が減り、効率よく地域運営できると考えますが、見解を伺います。

市長 各地域のまちづくり運営協議会の相互支援については、人口減少社会への対応の観点からも重要であると考えています。本年2月に開催したまちづくり運営協議会合同研修会には、設立準備会を含む7地域のまちづくり運営協議会から役員の方々が参加され、地域課題や活動事例に関して活発な情報交換が行われました。本年度も同様の会議を開催予定で、関係者の皆さまに参加いただき、将来的な相互支援体制も視野に入れながら、地域間の交流を深めていただければと考えています。また、まちづくり運営協議会を設立して間もなく、まちづくり計画の実行もこれからというところもあります。それぞれが作られた、まちづくり計画をしっかりと実行していただき、組織づくり、輪の広がりを期待するところであり、「結」の考え方でその地域の中で自分たちのまちをみんなを支え合っていくという、この考えは重要だと考えています。多くの市民の方々に共有いただき、取り組みに参加していただける後方支援について行政として進めていきたいと思っています。

質 まちづくり運営協議会同士の広域的な相互支援体制を防災分野に活用してはどうかと思いますが、見解を伺います。

防災課長 自主防災組織は地域防災活動の拠点であり、まずは各組織内での日常からの取り組み、また、各まちづくり運営協議会エリア内での自主防災組織同士の連携、まちづくり運営協議会との連携によって市内全域での防災活動の促進につながることであればと考えています。

一般質問



金井田
議員

○元寇（弘安の役）750年を迎えるにあたっての鷹島海底遺跡の未来戦略について

質 本市は道の駅鷹ら島に「元寇の島鷹島を水中考古学の拠点へ」という理念を掲げています。これを単なる理念で終わらせてはいけないと考えています。2031年の元寇750年という歴史的節目を迎えるにあたり、この理念を現実のものとして形にしていける時期ではないでしょうか。本市として水中考古学の拠点化を今後どのように具体化していくか、お尋ねします。

文化財課長 松浦市を水中考古学の拠点にすることは、国史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書の整備活用方針や松浦市文化財保存活用地域計画のアクションプランの中で示しています。令和6年に文化庁の認定を受けた文化財保存活用地域計画のアクションプランの中で、策定から12年を経過した保存管理計画書の見直しに取り組むこととしています。この見直しで、より現状に見合う内容の保存活用計画を作成し、拠点化の方向性を再整理したいと考えています。

質 奈良文化財研究所の出張所、あ

るいは研究拠点機能を鷹島町へ設置することを目指すべきだと考えています。5月25日の長崎県への要望（重点項目…鷹島神崎遺跡の保存と活用について）において、市長自ら県知事へその思いを直接伝えられたことは、大変心強く感じています。行政と議会が同じ方向を見据え、鷹島を水中考古学の拠点へという理念の実現に向け、一体となって取り組んでいく姿勢が示されたものと受け止めています。今後もこの流れを継続的な取り組みにつなげていくことが重要で、歴史が眠る島から世界へ向けた水中考古学の拠点として、鷹島町はその可能性を持っていると考えますが、見解をお尋ねします。

市長 昭和55年から現在に至るまで継続的に調査が行われてきた鷹島海底遺跡、そして、国内唯一の国の指定を受けた水中遺跡の鷹島神崎遺跡、いずれも日本だけではなく、世界に認められた水中遺跡であると認識しています。これまでの調査成果や元寇船の発見に至るプロセスの確立、海揚がり遺物の保存処理技術など現状を鑑みても、本市が行っていることは、既に水中考古学の拠点としての事業と言っても過言ではありません。本市のこれまでの取り組みが全国に広がるように引き続き努力を重ねていきたいと考えています。

一般質問



本
紙
議
員

○3月定例会での一般質問事項の確認について

質 福島地域複合機能庁舎の災害時の避難所機能強化の観点から、LPGガスで駆動する「GHP（ガスヒートポンプ）」の機能調査の検討結果と導入について伺います。

福島支所長 市民向けの説明会で、複数の方からいただいた意見等を踏まえ、現在、改めて基本設計段階で、EHP（電気式ヒートポンプ）とGHPの両方式について、総合的に評価する作業を行っています。設計業務完了までに空調方式を決定し、説明会で寄せられた意見等への対応を含め、周知したいと考えています。

質 本市が避難所として指定している公共施設等において、避難所機能の強化及び熱中症対策の観点から、GHPの導入を検討すべきと考えながら、見解を伺います。

防災課長 公設避難所の開設の際は、現在の空調設備の整備状況に合わせ、各施設内で使用可能な箇所を施設管理者と調整を図り設定をしているため、現時点でGHPの導入検討は行っていないです。

○水道料金の統一について

質 本市では家庭用水道の基本料金はこれまでの経緯や理由があり地域ごとに異なっていますが、これを統一し市民負担の軽減と公平性の確保を図るため、基本料金や超過料金の見直しを提案します。具体的には、現行10立方メートルまで1700円を7立方メートルまで670円に、現行の5立方メートルまで1200円を4立方メートルまで450円に改定し、これに加え、超過料金は1立方メートル当たり125円に合わせる提案について考えを伺います。

市長 基本料金の値下げの提案について検討を行いました。仮にこの値下げを行った場合、年間約5300万円の料金収入減となり、この財源の確保が課題となります。また、上水道に対して赤字補填は行っていないませんが、現状で旧簡易水道事業では利用者からの給水使用料だけでは事業費用を賄えず、令和6年度は一般会計から1億9000万円の繰入れを行っています。簡易水道の基本料金の値下げは、いま以上に一般会計からの繰り出しが増えるため非常に難しい状況です。なお、今後は上水道についても施設や管路の老朽化が進み、更新のための財源が必要になり、このため、今年度設置する松浦市上下水道事業運営審議会で、適正な料金体系について検討を進めることとしています。

常任委員会の審査概要

総務建設農水委員会

【議案】令和8年度松浦市一般会計
補正予算（第1号）（関係分）について

○松浦市役所本庁舎デジタルサイネー
ージ一式2314万2千円が計上さ
れました。

現在の本庁舎懸垂幕が非常に見え
づらく効果が薄いこと、懸垂幕作成
の都度費用がかかること、懸垂幕で
はこれまで周知できなかったイベン
ト等も幅広く周知できること、災害
時に緊急情報を迅速に発信できるこ
となどを勘案し、上下水道課壁面の
松浦中央病院側に、デジタルサイネ
ージを設置するものであるとのこと
でした。

委員からは、金額が高いのではな
いか、設置予定箇所は適切なのか、
現在の市のホームページやSNS等
を拡充したほうが良いのではないか
などの意見がありました。

○離島生活支援船建造工事費389
6万3千円が計上されました。

建造の目的は、青島地区において
運行している定期船最終便後の1便
について、個人の船舶に替わる交通

船を新たに建造するものであり、船
の規模は、重量約13トン、全長約18
メートル、定員12人以下で、救急搬
送時の安全性を確保し、民間フェリ
ーが運航する中において、可能な範
囲での運用環境を検討していくとの
説明がありました。

○地域未来交付金事業費900万円
が計上されました。

これは、移住希望者を対象にした
お試し移住ツアーにかかる費用とし
て「お試し移住コーディネート業務
委託料」、都市圏の移住関心層・潜
在層を対象に、松浦での暮らしの魅
力を発信するための動画コンテンツ
制作費として「移住プロモーション
業務委託料」、福岡都市圏とのアク
セスを生かし、松浦市との二地域居
住を促進するためのイベント開催費
として「二地域居住プロモーション
業務委託料」のそれぞれ300万円
です。

委員からは、移住実績等の具体的
な目標設定、移住者向けの住居の確
保にも力を入れてほしいとの意見が
ありました。

○非常備消防費消耗品費104万5
千円の減額が計上されました。

これは、山火事の際に使用する背

負い式の水のう25基分の減額であり、
コミュニティ助成事業に申請してい
たが不採択となったためとの説明が
ありました。

委員からは、本市は山が多く、山
火事の際に必要なとなる装備は一般財
源を活用しても整えるべきではな
いかとの意見がありました。

いずれも、行政事務並びに事業遂
行に必要な歳入歳出予算の計上であ
り、妥当と認めました。

なお、本庁舎デジタルサイネー
ジ設置について、設置場所の再検討、
有料広告の早期導入、鷹島海底遺跡
の機運醸成を図るため調査状況を積
極的に放映することを、附帯決議を
しました。

文教厚生産業委員会

【議案】令和8年度松浦市一般会計
補正予算（第1号）（関係分）につ
いて

○長崎県電源立地地域対策補助金を
活用した備品購入費716万円が計
上されました。

これは、「道の駅 鷹ら島」で使
用する冷蔵多段オープンショーケー
ス1台と冷蔵オープンショーケー
ス2台の購入費で、老朽化に伴い、高
効率の冷蔵庫に更新し、光熱水費の

削減を図ったり、最近の猛暑や魚の
鮮度の維持、衛生面等に配慮し、機
能向上を図ったりするため、購入す
るものと説明がありました。

委員からは、協定書上のルールが
どうなっているのか、他の指定管理
施設との整合性、指定管理先の経営
状況など、様々な意見がありました。
○中学校制服購入費補助金1267
万1千円が計上されました。

これは、子育て世帯の経済的負担
軽減を図る新たな子育て支援策とし
て、市内中学校に転入学する中学生
を対象とし、学校が指定する制服の
購入費の支援を行うもので、今年度
以降は現物支給を考えているとの説
明がありました。

委員からは、おさがりをもらって
いる生徒への支援や制服を分けて購
入した場合の支援、領収書を無くし
た場合はどうするのかなどの質問が
ありました。

理事者からは、保護者が混乱しな
いよう、また、不公平感が持たれな
いようQ&Aを添えて周知し、領収
書を無くした場合は、制服の販売代
理店から購入証明書を発行していた
だくようお願ひする予定で、できる
限り平等な制度となるようにしたい
という回答がありました。

いずれも、行政事務並びに事業遂
行に必要な歳出予算の計上であり、

妥当と認めました。

なお、長崎県電源立地地域対策補助金を活用した備品購入費については、指定管理協定書の厳守、指定管理者と協議し「経営改善計画」の作成および進捗状況の報告、今後同様の要望があった際の「特例としての支援基準」の整理など、附帯決議をしました。

【議案】松浦市生涯学習センター通路施設改修工事請負契約の変更について

土留め工を施工する中で、砂利の形状やかみ合い等により、当初予定していた油圧圧入工法では、必要な根入れを確保することが困難と判明したため、ドリル型の掘削機による先行掘削で障害となる砂利を除去し、油圧圧入とする工法へ変更するものであり、妥当と認めました。

所管施設調査

【総務建設農水委員会】

5月12・13日に所管施設調査を行いました。今回は、松浦魚市場、松浦消防署、放射線防護施設（松浦市高齢者生活福祉センター（水仙苑）、福島保健センター）、旧養源小学校、旧鷹島小学校、丸岩団地など、施設の現状を調査しました。

松浦魚市場は、一部施設の老朽化で改修が必要であるとの説明を受けました。漁業において重要拠点であるので、改修工事をすべきとの意見がありました。

松浦消防署では、庁舎内全般、通信指令室等確認しましたが、設備は整っており、女性職員専用の仮眠室や更衣室など、プライバシーに配慮された環境づくりがなされていました。

松浦市高齢者福祉センター、福島保健センターは、原子力発電施設周辺の放射線防護機能を付加した屋内退避施設で、緊急時には、要配慮者を約一週間安全に退避させる各種対策がなされていました。施設にある備蓄品のうち、賞味期限が切れそうな食料について、廃棄せずに、市内の小中学校で避難訓練を実施する際に、児童生徒に提供ができないかという意見がありましたが、国の交付金事業を活用し整備したものであるため、制度上できないとの説明でした。

旧鷹島小学校、旧養源小学校の跡地の活用については、建物の活用はあるが、土地については、現時点で活用のめどは立っていないとのこと、何かしらの利用を考えないと、管理費だけがかかるとの意見がありました。

福島町の丸岩団地においては、一階部分が湿気や換気不足などが原因

で、カビが発生しやすい状態であるとの説明を受けました。防湿対策など、専門的な調査が必要ではないかの意見がありました。

今後、予算などの議案審査や政策提案に役立ててまいります。

その他各委員会の活動

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

5月21日に委員会を開催し、鷹島海底遺跡のこれまでの取り組みと現状について、特別委員会の活動方針について協議しました。

鷹島海底遺跡のこれまでの取り組みと現状については、担当課から、調査が始まった昭和55年度からこれまでの経過、文化庁の取り組み状況、長崎県教育委員会と連携した取り組み状況および鷹島3号沈没船から出土した「墨書木板」の説明を受け、特別委員会の活動方針については、今後テーマを決めて、勉強会や意見交換会を実施することを確認しました。

また、同日、松浦市立埋蔵文化財センターの現地調査を行い、引き揚げられた遺物の保存状況、展示状況を確認しました。

議員表彰

5月27日に東京都で開催された全国市議会議長会第102回定期総会において、椎山議員が表彰され、6月定例会で伝達されました。

勤続25年表彰

椎山賢治 議員



県・県議会要望

5月25日長崎県庁において、市長、教育長、議長、地元選出県議会議員、総務建設農水委員長、文教厚生産業委員長、鷹島海底遺跡保存活用特別委員長、西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員長および関係課長出席のもと、長崎県知事および長崎県議会に対し、要望書を提出しました。



県知事への要望活動

《重点要望項目》
① 鷹島神崎遺跡の保存と活用について（継続）

② 長崎県立松浦高等学校の存続と魅力ある学校づくりの推進について（新規）

《要望項目》

③ 原子力防災対策について（継続）

④ 有害鳥獣対策の支援について（新規）

⑤ 水産物輸出拡大施設整備事業により再整備を行った松浦魚市場を核とする加工・物流拠点整備のための新たな用地確保について（継続）

⑥ 伊万里湾における赤潮対策について（継続）

⑦ 松浦魚市場における水揚確保対策について（継続）

⑧ 電源三法交付金制度の見直しについて（継続）

⑨ 松浦火力発電所の安定的な稼働について（継続）

⑩ 一般県道「喜内瀬鍋串辻線」における福島大橋の機能拡張及び福島大橋から福島港間の道路整備の早期完成について（継続）

⑪ 主要地方道「佐世保日野松浦線」における椋呂路トンネル（仮称）などの整備について（継続）

⑫ 西九州自動車道の整備について（継続）

以上、重点要望項目2件を含む12件について要望を行いました。

議会日誌

4月

9日・10日

◇長崎県市議会議長会定期総会（西海市）

16日◇市議会だより編集委員会

17日◇各派代表者会

22日◇長崎県市町村総合事務組合議会（長崎市）

23日◇都市計画審議会

23日・24日
◇九州市議会議長会理事会・定期総会（佐賀市）

5月

1日◇全員協議会

8日◇議会運営委員会

12日・13日
◇総務建設農水委員会
所管施設調査

14日◇長崎県三市（五島・平戸・松浦）議会正副議長会

21日◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会

25日◇長崎新幹線・鉄道利用促進協議会／長崎県空港活性化推進協議会／長崎上海航路利用促進協議会 合同総会（長崎市）

◇長崎県知事・長崎県議会議長への要望活動（長崎市）

27日◇長崎県選出国会議員への要望活動（東京都）

◇全国市議会議長会定期総会（東京都）

29日◇西九州自動車道建設促進期成会定期総会（伊万里市）

6月

2日◇東彼杵道路建設促進期成会定期総会（佐世保市）

◇椋呂路・板山トンネル建設促進期成会定期総会（佐世保市）

5日◇議会運営委員会
◇各派代表者会

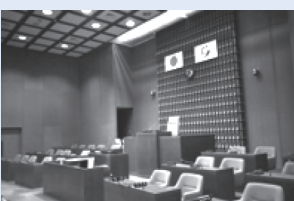
12日・25日
◇定例会

17日◇市議会だより編集委員会

23日◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会

24日◇長崎県更生保護協会平戸・松浦支部理事会・評議員会

25日◇議会運営委員会



議案等の審議結果

条 例	○松浦市税条例の一部改正について	可決（全員）
予 算	◎令和8年度松浦市一般会計補正予算（第1号） 討論あり、詳細は次ページ	可決（多数）
	□令和8年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和8年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和8年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和8年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和8年度松浦市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	○令和8年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	○令和8年度松浦市臨海土地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	○令和8年度松浦市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	○令和8年度松浦市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	※令和8年度松浦市一般会計補正予算（第2号）	可決（多数）
そ の 他	○青島辺地に係る総合整備計画の策定について	可決（全員）
	□松浦市生涯学習センター通路施設改修工事請負契約の変更について	可決（全員）
	□財産の取得について	可決（全員）
	○財産の取得について	可決（全員）
	□財産の取得について	可決（全員）
請 願	□ゆたかな学びの実現・教職員定数改善および義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択（全員）
議員提出案	※ゆたかな学びの実現・教職員定数改善および義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書の提出について	可決（全員）
注）文頭の記号は審査の付託先を表しています。 ◎・・・ 各常任委員会へ分割付託 ※・・・ 委員会付託を省略し全員審査 ○・・・ 総務建設農水委員会 □・・・ 文教厚生産業委員会		

【議案】令和8年度松浦市一般会計補正予算（第1号）について

本議案については、本会議最終日において、賛成多数で可決されました。

採決に先立ち、2人が反対討論を行いました。

反対討論の要旨

小川議員

○庁舎整備事業（デジタルサイネージ設置）について

- ・電気代だけで年間約60万円が想定され、現在の懸垂幕の維持費と比較して高額である。
- ・デジタルサイネージでは、画面が次々と切り替わるため、周知したい情報を目にする機会が減る恐れがある。
- ・教育施設等の整備、産業振興、空き家対策など、生活基盤に関わる行政課題が山積する中で、優先して整備する必要性があるのか。
- ・市役所職員の負担が増えることが想定される。
- ・将来の財政を圧迫する懸念がある。

志水議員

○中学校制服購入費補助金について

・限られた財源の使い方、補助の公平性、決定までの進め方に疑問がある。

・子どもたちの安全、生命に関わる事業を優先的に取り組むべき。

・同じ制服を購入しながら、学年によって補助の有無が生じるのは、公平性の観点から市民の理解が得られない。

・制服の在り方検討会において、保護者の負担軽減だけではなく、お下りの活用、動きやすさ、多様性への配慮などを目的として、制服の市内統一が検討されたと認識しているが、制服統一化の目的との整合性について改めて検証が必要ではないか。

・議会への十分な説明や議論がない中で、対象となる保護者への文書配付が行われた行政手続きの進め方に大きな違和感を覚える。



本議会最終日の録画映像はこちらから。

長崎ヴェルカ応援Tシャツ着用！

6月定例会初日の6月12日に、議員および市長をはじめ理事者全員が長崎ヴェルカの応援Tシャツを着用して本会議に出席しました。長崎ヴェルカが男子プロバスケットボール・Bリーグ1部チャンピオンシップで見事年間王者に輝いたことや、本市出身者がユースチームのコーチを務めていることもあり着用しました。



編集委員のつぶやき

うだるような厳しい暑さが続く8月となりました。蝉の声が一段とにぎやかになり、夏の盛りを感じます。

子どもたちは夏休みです。暑さに負けず、思い出に残る夏にしてほしいものです。

さて、「夏を制する者は受験を制する」と言われるように、暑さの厳しいこの時期をどう乗り越えるかが、その後に影響します。受験生にとって夏は大きな勝負の時期です。暑さに負けず机に向かい、自分自身と向き合う積み重ねが、やがて大きな力となって実を結びます。

また、スポーツの世界では、夏の鍛錬が秋以降の結果を大きく左右するといわれます。自分を鍛えぬく日々は、技術だけではなく心の強さも育ててくれます。

文武において、「確固不拔」の精神で、日々精進をしてください。

議会は今後も、市民の暮らしに「寄り添い、支え守る」。その信念で取り組んでまいります。

（福）

市議会だより編集委員会

委員長 志水 周
副委員長 小川 晃弘
委員 福本 宗典
委員 村尾 一樹
委員 紙本 宏幸